

令和元年度第5回
平戸市総合戦略推進委員会
議 事 録

と き：令和2年3月17日（火）10：30～11：40
と ころ：平戸市未来創造館 2階会議室C

開催日時	令和2年3月17日（火） 10:30～11:40
開催場所	平戸市未来創造館 2階会議室C
出席委員 (50音順、敬称略)	佐藤武郎、田上和利、綱辰幸、都野川直樹、福田章、町田和正、 松山芳弘、馬渡勇一、山邊幸一、(9名)
欠席委員 (50音順、敬称略)	赤木望、岡田眞、白石くみ子、豊増見喜雄、長崎屋容子、 山本洋一 (6名)
事務局 (財務部企画財政課)	村田部長、田中課長、藤山班長、浦川主任主事
次第	(事務局)
1. 開会	
2. 副市長 あいさつ	町田副市長
3. 推進委員会 会長あいさつ	綱会長
4. 議題 (1)第2期平戸市 総合戦略の素案 について 委員 事務局 会長	<p>【基本目標1】雇用の促進 (事務局説明)</p> <p>●質疑・意見等</p> <p>7ページの市内事業所の従業員数について、基準値と目標値が同じだが、事業所は今後増える見込みはないのか。</p> <p>8ページにあるように企業誘致で、働く場所を確保していくこととしている。しかしながら、人口減少が進むことは避けることができない状況の中で、市内の従業者を確保していきたいということから、目標値を横ばいとしている。</p> <p>人口が減っていく中、従業員数を維持していくのは大変だが頑張っていたきたい。</p>

委員	9ページの就労環境の整備で、男女共同参画社会の数値は検討しなかったのか。
事務局	担当課とも協議を行ったが、客観的な数値が見いだせなかった。
委員	就業者数の中で男女比率は出てくると思う。ハローワークの統計で出るのか。
委員	市内事業所の従業者数では男女比率は出る。求職者数についても男女比率は出る。
事務局	K P Iは方策の達成度合いを確認する数値であり、K P Iを達成するために事業を行っていくが、男女共同参画については主な事業に入れてはいない状況である。
会長	男女共同参画については、K P Iには置かないが推進を行っていくということか。
事務局	担当課では、外部委員からなる委員会等については、女性の参画比率を高めるような働きかけを行っている。
会長	都市部から帰ってくる方にとっては、どうしても所得が下がるので、奥さんも働く場所があったほうがよい。参画ではないが女性の雇用の場は重要かと思う。
事務局	以前から、女性の雇用の場についてはご意見を頂いており、担当課とも話をしている。女性が残らないと人口減少抑制ができないことは担当課も十分認識しているので、そのような取組みを進めていく。
委員	シングルマザーの支援や就労支援は各地で行われており、本計画に掲載することは別として事例は確認した方がよい。

	<p>【基本目標 2】産業の振興</p> <p>(事務局説明)</p> <p>●質疑・意見等</p>
委員	<p>16 ページの K P I の新商品開発数について、原材料を分けると農産品や水産品があると思うが、目標値の 88 品の具体的な中身はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>K P I の目標値については、担当課と協議を行い設定を行っている。年間 10 品を目標としているが、具体的な中身の内訳については把握していない。後日確認を行うが、おそらく農産品や水産品の分けは行わず、全体として年間 10 品といった目標を立てているものかと思う。</p>
委員	<p>学生のアイデアを活かした新商品の記事がよく出ているが、将来的にはそのようなことも入れていったらどうかと思う。</p>
委員	<p>生徒に新商品開発を行わせることができる優秀な先生が必要になるが、学校関係でもできないことはない。</p>
事務局	<p>新商品開発数については、本市で取り組んでいる商工関係の補助事業で支援を行ったものと認識している。話があったように補助事業ではなくても、側面的な支援ができればいいと思うが、その部分まで商工担当が入っていけるかどうかは、担当課と話をしてみないと分からない。</p>
委員	<p>高校が行う場合は、企業との連携といった形になると思う。高校が新商品を開発し企業が作って売ることになる。実際、今までそのようにやってきている。高校はアイデアを出すだけであり、高校が儲けることはできない。</p>
委員	<p>新商品開発数は、具体的にどのような企業が新商品を開発するのか。</p>

事務局	<p>16 ページに記載している 6 次産業化推進事業が、新商品開発の事業になる。今までは 1 次生産者が加工から販売まで行う取組みに対する支援を行っていたが、1 次生産者が加工から販売まで行うことはなかなか難しい部分があり、来年度からは 1 次生産者の方に限らず、広く取り組める事業内容に変更を行っている。具体的にどのような企業が新商品を開発するのかといった部分については、この事業に手をあげる新たに取組みを行う事業者や既存の事業者になる。</p>
委員	<p>簡単には新商品開発はできないと思うので、この事業に手をあげる事業者はいるのかと思う。</p>
委員	<p>毎年、いろいろな品評会があり、売れる売れないは別として新商品は結構出てくる。農産加工もあるが、どちらかという水産加工やお菓子系が多く、酒類も当然出てくる。新しい商品を開発して賞をとるとそれ自体が P R になる。</p>
会長	<p>18 ページの K P I で未来技術にかかる研修参加者数とあるが、具体的にはどういうものをイメージしているのか。</p>
事務局	<p>こちらについては、I o T や I C T を活用した事業を計画にあげたかったが、現状そのような事業を見出すことができず、未来技術にかかる研修参加者数を K P I として設定している。これは、農林課において、県内外で未来技術にかかる先進的な取組みを行っている農家を視察し、学んだ知識を市内での取組みにつなげるといった事業を今年度行っており、来年以降も取り組んでいくのでその数をあげている。庁内の会議において農林に限らず他の分野においても未来技術を導入する研修を行っていくとともに、その数字を把握すべきではないかといった意見があり、他の分野についても各課に照会をして数字を把握するようにしている。現在、記載している基準値の 17 人は、農林で実際に研修にいった方の人数である。</p>

事務局	18 ページの主な事業で農業産地力向上対策事業が未来技術にかかる研修の事業になっており、来年度についてはスマート農業の推進ということでドローンを活用して作物の育成等に取り組んでいるところへの先進地視察を考えている。
会 長	未来技術にかかる研修については、今のところ 17 人参加しているということか。
事務局	農林の研修については、いちご部会やアスパラ部会など部会単位で行っており、今のところこの数字となっている。主な事業では農業の事業をあげているが、他の分野で取り組む事業が出てきた場合は、計画の改定を行うとともに K P I についても見直しを行っていく。
	<p>【基本目標 3】子育て支援 （事務局説明）</p> <p>●質疑・意見等</p>
委 員	小規模校とは何人ぐらいからをいうのか。例えば平戸市の小中学校でどこが該当するのか。中部地区で言えば、小さな学校は既に紐差小学校に統合していて、根獅子小学校と 2 校だけであるが、統廃合で小規模校が少なくなっている中、21 ページの遠隔教育システム導入事業での小規模校はどこを指すのか。
事務局	小規模校の定義は、小学校が 6～11 クラス、中学校が、3～11 クラスとなっており、これでいけば平戸のほとんどは小規模校という分類になるのかと思う。
委 員	この遠隔教育システム導入事業では、対象校を指定しないと予算が組めないのでは。
事務局	その部分については、平成 27 年度から行っている I C T 教育推進事業で既に導入しているパソコンやタブレットを使用し、最大 3 校が同時

	<p>に利用できるインターネット上の仮想の会議室にて授業や会合を行うこととしている。</p>
委員	<p>システムの構築といった事業になるのか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
	<p>【基本目標4】定住・移住の促進 (事務局説明)</p>
	<p>●質疑・意見等</p>
会長	<p>25ページのKPIでまちづくり運営協議会に対する支援回数とあるが、支援とは何を行うのか。</p>
事務局	<p>まちづくり運営協議会で様々な取組みを行っている中で、現在、集会や研修等に担当が出向いて側方支援を行っている。今後はさらに回数を増やし取組みを進めていく必要があるため、その数字としてあげている。</p>
委員	<p>具体的な財政支援とかではないのか。</p>
事務局	<p>まちづくり運営協議会には、既に交付金を出している。KPIを設定する上で、予算の執行率がいいのではないかといった意見も出たが、予算執行については、まちづくり運営協議会が行うべきことであるので、このKPIについては非常に悩んだところであるが、担当課と協議を行う中で、今まで以上にまちづくり運営協議会に入って連携していかないといけないということで、まちづくり運営協議会に対する支援回数をKPIとして採用している。</p>
委員	<p>要望だが、数値目標の社会増減数について、五島市が今年社会増となっている。これは長崎県においてもすごいことだと思っている。五島市はどの年代が増えたのかであるとか取組み内容について情報収集を</p>

	<p>行い、五島市を参考して社会増につながるような取組みを是非行っていただきたい。</p>
事務局	<p>現在、本市においても移住者支援を行っているところであるが、総合戦略については、人口減少対策が一つの目標であるので、今後も社会増減に注視しながら、先進的・効果的な取組みについて情報収取を行い施策に反映させていきたい。</p>
委員	<p>25 ページの主な事業のシティプロモーション推進事業の事業概要にシビックプライドとあるがこれは何か。</p>
事務局	<p>注釈をつけるべきところをつけていなかった。地域を愛する心であったり、地域を誇りに思い自慢したくなるような心を育む取組みといった意味でシビックプライドの醸成という言葉を使っている。シティプロモーションの事業は、対外的に平戸の魅力を発信するといった事業であるが、その土台としてまず市民に平戸のことを知ってもらい、好きになって誇りを感じてもらうことにより、魅力あるものを外に対して発信できるといったところがあるのでシビックプライドという言葉を使っている。注釈については、入れさせていただく。</p>
委員	<p>横文字を使わなくても地域愛でいいのでは。</p>
事務局	<p>パブリックコメントでも用語の解説はあるのではないかといったご意見を頂いた。シビックプライドについては、第2次平戸市総合計画においても使用している言葉となっているので、理解しやすいよう注釈をつけて対応したい。</p>
会長	<p>それでは、第2期平戸市総合戦略の最終案について審議を行ったが、総合戦略推進委員会として事務局の提示した内容で了承するというところで異議はないか。</p>

<p>会 長</p> <p>(2)その他</p> <p>事務局</p>	<p>○委員からの異議なし</p> <p>事務局については、今月末までの策定にかかる事務処理を滞りなく行っていただきたい。</p> <p>今後のスケジュールとしては、内部決裁の後、今月中に策定することとしている。策定後は、市ホームページに掲載するとともに推進委員及び市議会議員に郵送を行う。また、パブリックコメントで頂いた意見については、ホームページにて回答を行っている。</p> <p>○質疑・意見等なし</p>
<p>5 閉会</p>	<p>会議終了</p>